

フロイント産業が新工場

50億円超投資 添加剤2.5倍に増産

医薬品 安定供給

フロイント産業は浜松事業所（浜松市浜名区）内に、原薬を覆う医薬品添加剤の新工場を建設する。総投資額は50億円以上を見込み、2026年内の完成を目指す。医薬品添加剤の製造能力は現状比で2・5倍に高まる。医薬品の供給不安が社会問題化する中、増産により添加剤メーカーとして安定供給に貢献する。

現在は浜松事業所内に2棟の製造棟があり、新工場は3棟目となる。工場新設にあたり、フロイント産業は経済産業省の「中堅・中小成長投資補助金」を活用する。医薬品添加剤事業における大規模生産設備投資は、日本における医薬品の安定供給や増産など供給網の最適化につながる。

同社の化成事業の24年2月期売上高は67億円。新工場を建設して製造能力を強化し、27年2月期に同事業の売上高を72億円に引き上げる計画だ。

医薬品添加剤市場は信越化学工業や旭化成などが競合となる。ただ、フロイント産業は製剤機械装置の世界大手でもあり、添加剤と装置の両方を展開する強みを有する。

現在、添加剤はフィルムコーティングや糖衣コーティングなどで薬を固め、原薬の苦みなどをなくして服用しやすくする。溶ける時間を調整する役割もある。